

No.とプログラム名	<b>No.49 ダンボールで横浜のジオラマを作って、 謎解きタイムトリップへ！</b>
実施日・回数	8月7日（水）午前、8月7日（水）午後 計2回実施
会場	<b>【中区】</b> 一社 防災ジオラマ推進ネットワーク 事務所
参加児童数	17人
企業・団体等名	一般社団法人 防災ジオラマ推進ネットワーク
参加の目的 (150文字程度)	ジオラマを通じて、子どもたちに横浜の歴史・魅力・災害リスクについて知ってほしい。

## ■ プログラム内容

関内周辺の埋め立て等による地形の変遷について、皆で段ボールジオラマを使って再現。時代ごとに出される謎を解きながら横浜の歴史を学んだ。

ゲーム後、現代のジオラマを見ながら危なそうな場所について参加児童に考えて発表してもらい、実際のハザードマップとの対比によって地形やその成り立ちと災害リスクとの関係についても学びました。

## ■ 当日の流れ（簡単に記載してください）

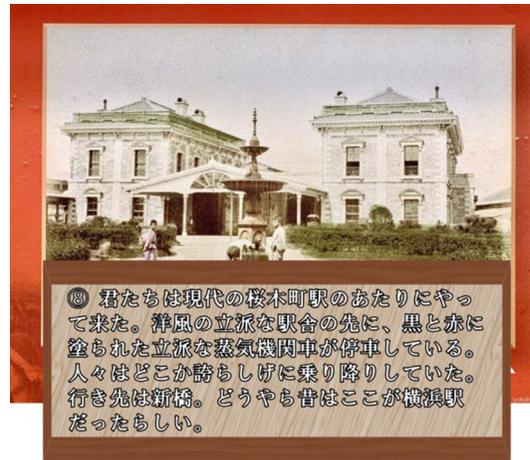
ジオラマの組み立て→謎解きゲーム（時代ごとの地形変化）→防災学習→振り返り会

弊団体Webサイトでのレポート

<https://www.bosai-diorama.or.jp/2024/08/07/koado2024/>



スライドを見ながら謎解きが進む



ゲームの進行スライド



ジオラマ上で横浜の歴史スポットを巡る

## ■ 参加児童の様子や意見、感想など

皆さんとても積極的に参加してくれ、事前の想定以上に大いに盛り上がってくれました。

### < 学生サポーターさんから見た児童についての感想 >

- ・現代の小学生の考える能力の高さにびっくりした。
- ・進んで行動していく姿勢を持った子供達が多かった印象を持ちました。
- ・地理博士みたいな子がいて、びっくりした。
- ・みんな自分の意見を持っていてとてもよかった。
- ・ノリがよい子が多い印象だった。
- ・知識が豊富にある子が多かった。

### < 振り返り会での児童の感想 >

- ・横浜の歴史（土地・建物）が学べた。
- ・横浜は埋め立て地で、地震の時に津波や色々な被害がある。
- ・ゲームが楽しかった。
- ・津波がきたら高いところにしっかり逃げようと思った。
- ・今回学んだ事をこれから生かしたいと思った。
- ・様々な危険が潜んでいることが分かった。
- ・友達や親に伝えたいと思う。



ジオラマ組み立ての様子



皆で協力して謎解きに取り組んでいる様子

## ■ 企業・団体の気付きや感想など

小学生には少し難しいかも・・・との事前の不安も杞憂でした。  
昨年の内容に謎解きゲームの要素を加えたことで、進行もさらにメリハリが出て児童の集中力も高く、楽しみながら学ぶことの大切さを一層実感することができました。

## ■ 学生サポーターの気付きや感想など（学生受入れ企業・団体のみ）

積極的に子どもたちと関わって、ゲームの進行などしっかりとサポートしていただきました。

### <以下、学生サポーターさんより>

私は学生サポーターを通して、スラスラ言葉だけ話しているだけだと、少し子供相手だと伝わりにくいので、体や目線を教えたい対象や話したい対象の方向に向ける重要性を感じました。そのような行動を一つするだけでも、伝わり方が変わった印象を持ちました。

また、自分自身まとめの会の司会を務め、進行を行いました。勉強したことをその日にその時にまとめ自分の中に落とし込んでいくことで、大切な事を忘れずにちゃんと記憶しておくことができるとも思いました。感想としては、今回このような体験をして、私自身知らないことや危険性が身近に存在していることを知ることが出来て、さらに楽しんで行えることも出来てとても良い経験ができました。



ファシリテーターの問いに聞き入る児童たち



学生サポーターの進行による「振り返り会」